新会長に荒井一廣氏

来年7月に創立60周年 記念式典

エコール事務機チェーン

【ビューロウ発】エコール事務機チェーン（原島博会長）は、7月23日午後5時から、東京・後楽の東京ドームホテルで「第60期定例総会」を開催、任期満了に伴う役員改選で、新会長に荒井一廣氏（勝文堂）が選任された。

総会は、内村理事の司会で、奥本副会長が開会の辞を述べたあと、原島会長が「当チェーンは今年創立60周年を迎え、これまでの歩みを振り返ると感慨深い。コロナ禍で思うように活動できなかったが、当期から納涼のどリアルで開催でき、新会長に良い形でバトンタッチができる。インバウンド需要により景気回復の兆しがあるものの、円安、2024年問題、人手不足、物価高など、経済の先行きには不透明感がある。今後も共同事業を推進していくが、忌憚のないご意見と、一層の協力を願う」と挨拶。

エコール事務機チェーンの総会

会員総数109社中、本人39社、委任状70社の全員出席を確認したあと、原島会長を議長に選出して議事に入った。

第1号議案・第60期事業報告並びに収支決算報告承認の件を各担当理事が報告し、収支決算を事務局が報告、谷監事が監査報告を行って、原案通り承認可決した。

第2号議案・第61期事業計画案並びに収支予算案承認の件を各担当理事と事務局が説明し、原案通り承認可決した。新年度はエコール大見本市（9月20、21日、1月17、18日）、研修会、納涼の宴（8月2日）、レディーズディナー（11月21日）などの事業を展開、そのための予算として105・8万円計上した。

なお、2025年7月4日に創立60周年記念式典を開催予定。

第3号議案・任期満了に伴う役員改選の件は、会社側から提案があり、原案通り承認され、荒井新会長が就任した。

議了後、エコール流通グループ賛助会・石川幹事長が「当チェーンは1964年に会員188社で発足し、現在109社でしっかりと活動している。新体制で次の60年に向けてチャレンジし、メーカーも一緒に盛り上げていきたい」と、祝辞を贈った。

次に、会社側を代表して東京エコール・杉山社長が「東京エコールも4月で第60期決算を終え、コロナ明けで消費が戻り、業績も回復した。インバウンド需要はあったものの、オフィス需要の停滞が続き、売上はキャッチアップできたが、利益は減少した。新3カ年中期経営計画を策定、問屋としてできること、新たなビジネスの展開、物流改革などにチャレンジし、新世代のビジネスモデルを構築できるように頑張りたい」と挨拶。

佐渡常任理事が閉会の挨拶を述べ、別室で懇親会に入り、和やかに歓談した。

【新役員】敬称略

会長　荒井一廣（勝文堂）昇任

副会長　奥本祐二（奥本いろは堂）、中島良彰（なかじま商事）昇任

常任理事　渡邉一正（加登屋）、松山浩史（第一文眞堂）、八木幹雄（マルハチ）、松本光徳（マルエー）、佐渡直紀（竹宝商会）、野村貴一（アーンズ）昇任、家富雄一（家富紙店）昇任

理事　浦上孝行（菊屋浦上商事）、森大輔（モリイチ）、笹本三樹雄（オカジマ）、長妻直哉（相馬屋源四郎商店）、磯間光夫（磯間書店）、内村浩史（ウチムラ）、今村優（加美屋）、村田卓実（村田永楽園）、平野一夫（平野屋紙文具店）、吉川一彦（太陽堂書店）、宮原康行（ミヤハラ）、中村哲也（ナカムラ）新、内田栄憲（丸正商店）新、原島英樹（ハラジマ）新、上本祐朗（上本商店）新

監事　谷岳明（不二屋）、藤井國男（三松堂）、鳥田裕一朗（精美堂）新

地蔵盆でのお参り風景

大阪の本社に祀られているお地蔵様は、昭和21年の社屋建設の際に創業者の田中経人氏と縁があって出会い、現在も本社前におまつりして近隣の方から北向き無縁地蔵と呼ばれて親しまれている。

同社では地蔵盆を地域住民とのふれあいの場として考えているが、コロナウイルス感染拡大防止の観点から、静岡事業部の地蔵盆、本社でのお菓子の配布は取りやめて、お参りのみを行った。

尿ハネ汚れ可視化

シヤチハタ

トイレ用のスプレー Makuakeで販売

シヤチハタ株式会社（舟橋正剛社長、名古屋市）は、尿ハネが見えるようになるスプレー「MIERUMO（ミエルモ）」を応援購入サービスMakuakeにて9月6日11時よりテスト販売を開始した。

「ミエルモ」は、トイレに吹きかけるだけで、気が付きにくい尿ハネ汚れが青く浮き出て、拭き取り掃除ができるトイレ用スプレー。尿ハネ汚れが可視化できるので、トイレの臭いの元を逃さず拭き取り除去できる。

開発のきっかけは、ある社員の「トイレを掃除したはずなのになぜか臭う」の一言。そんな悩みに対して、企画担当者が「シヤチハタのインキの技術を使って臭いの元が見えたらいいのではないか」と発言したところから開発がスタート。そしてたどり着いたのが着色剤、消色剤（次亜塩素酸ナトリウム）を利用した可視化技術（国際特許出願済み）と2液の直前混合方式で、見えるようになった汚れをキレイに拭き取ることができる。

尿ハネ汚れがない場所では、消色剤が着色剤の色を消して透明になり、尿ハネ汚れがある場所は、消色剤が尿ハネ汚れに作用するため、尿ハネ汚れ部のみ着色剤が残り青くなる。

漂白可視化法と2液式スプレー機構の組み合わせにより、プッシュで尿ハネ汚れ部のみに色を付けることが可能になった。

「Makuake」超早割価格1280円、一般販売予定価格は1380円。税込。

「Makuake」のプロジェクトページURL＝https://www.makuake.com/project/shachihata05/

ミエルモ

新規事業創出プロジェクト

また同社は、8月19日より株式会社A（エイス）が提供するオンライン共創プラットフォーム「Wemake（ウィーメイク）」（https://www.wemake.jp/）を活用し、同社がこれまで培ってきた5つの「機能性インキ」の持つ価値を応用した新規事業アイデアを募集する「新規事業創出プロジェクト」をスタートした。

同社は、従来のインキが持つ「色を付ける」機能だけではなく、ユーザーのニーズに応える特殊な機能を備えた、さまざまな機能性インキを開発してきた背景から、今回は5つの「機能性インキ」を題材としてアイデアを募集。他にも、アナログ・デジタルの両方で企業の持続的成長を支援する同社ならではの強みを生かし、それらと掛け合わせた事業アイデアについても募集している。

ウィーメイクでアカウント登録した人を対象に、複数回の社内審査を経て、受賞者を決定。最優秀賞100万円、優秀賞50万円、特別賞30万円、ファイナリスト7万円をそれぞれに授与し、受賞したアイデアは事業化を検討する。応募期間は10月20日まで。結果発表は来年2月中旬予定。

全商品に拡大

キャンパス

○…コクヨ…○

#deleteC大作戦

コクヨ株式会社（黒田英邦社長、大阪市）は、みんなの力で、がんを治せる病気にすることを目指す認定NPO法人deleteC（デリート・シー＝小国士朗代表理事）の活動に賛同し、9月のがん征圧月間期間中の9月1日～9月30日まで実施、SNSの投稿や拡散ががん治療研究の寄付につながる「#deleteC大作戦」に本年度も参加する。

「#deleteC大作戦」は、毎年9月のがん征圧月間に、「あつまれ、想い」を合言葉に実施する、SNS（X、Instagram）での投稿やリアクションが、がん治療研究への寄付につながるカジュアルソーシャルアクションで、同社はこの活動に賛同し今年も参加することを決定した。

今回の「#deleteC大作戦」では、対象をキャンパスノートだけでなく、キャンパスブランド全商品に拡大して実施。期間中に、キャンパスブランド商品の「Campus」ロゴの「C」の部分を自由なカタチで消した画像や動画を、「#deleteC大作戦」と「#キャンパス」をつけてSNSで投稿、もしくは「コクヨのぶんぐ」の公式X（@kokuyo_st）の該当投稿に対してリアクション（リポストやいいね）・再生をすると1投稿あたり100円が、1リアクション・再生あたり10円が、がん治療研究への寄付・啓発費用として、当社からdeleteCを通じて届けられる。

同活動を通じ、「キャンパスノートに闘病日記をつけて治療を乗り越えました」といった当事者からの生の声も届き、ささやかでもがんと向き合う人々の力になれるなら、との思いから、本年も「#deleteC大作戦」を盛り上げていくという。

本社で地蔵盆行う

LIHIT LAB.

子供達の健やかな成長願う

株式会社LIHIT LAB.（田中宏和社長、大阪市）は、近隣の子供達の健やかな成長を願って8月23日に本社で地蔵盆を行なった。

地蔵盆とは近畿地方で古くから行なわれている行事で、お地蔵様をお祀りし、子供達の健やかな成長を願うもの。毎年8月23日、24日ごろに行なわれており、町内ごとに地蔵尊の前に屋台を組んで供物をそなえ、お参りに来た子どもたちにお菓子を配る慣わしとなっている。

プラ資源リサイクル

カウネット ループラ

サービスエリア全国へ

コクヨグループでEコマースサービスを提供する株式会社カウネット（宮澤典友社長、東京都）は、オフィスのプラ資源リサイクルサービス「カウネットLoopla（ループラ）」のサービス対象エリアを全国に拡大した。（沖縄及び離島はサービス対象外）。

同社は、テクノロジーとクリエイティビティを活かし、全ての働く人に価値ある体験を提供する取り組みを推進しており、循環型社会の実現に向けて、サプライチェーン全体で省資源・廃棄物削減を促進し、サーキュラーな商品やサービスを提供することで地球環境への責任を果たし、持続可能な経営を目指している。

「プラスチック資源循環促進法」により、プラスチック製品の削減が求められる中、オフィスで使用頻度が高く、一度使用されて捨てられることが多いクリヤーホルダーの再資源化に注目が集まっている。同社は、オフィス通販サービスを通じてクリヤーホルダーを多く販売してきたことから「販売事業者としての責任」を果たすべく、2023年9月にオフィスのプラスチック資源回収サービス「カウネットLoopla」を開始した。

プラ資源回収サービス

同サービスでは、事業者様（自治体・個人含む）から使用済みクリヤーホルダーを回収し、提供された使用済みクリヤーホルダーをプラスチック製品の原料として再資源化を行う。使用済みクリヤーホルダーは事業者から有償で譲渡してもらい、譲渡対価は支払いに代えて同社指定の環境団体へ寄付する。

サービス開始から約9カ月で千を超える事業所が参加している。

フォーデック役員

株式会社フォーデックは、7月18日開催の第84回定時株主総会で、新しい体制を次の通り決定した。（敬称略）

代表取締役会長　石田信正

代表取締役社長　山尾剛志

専務取締役　岡本祐太郎（業務統括本部長）

常務取締役　長野学（事業開発本部本部長）

取締役　大政史生（営業本部本部長）、新井雅覚（経営管理本部本部長）新

監査役（社外）　村田有久

執行役員　渡部勝彦（ビジネスパートナー事業部事業部長）、松原竜二（リテール&コマース事業部事業部長兼広島統括部長）、児子竜郎（オフィス環境事業部事業部長兼岡山支店長）新

日興商会役員

株式会社日興商会は、8月24日開催の第83期定時株主総会および取締役会で、新役員を次の通り選任した。（敬称略）

代表取締役社長　藤縄修平

取締役　山田俊和（管理本部長）、恩田誠（経営企画本部長）、森田徹（営業本部長兼印刷工場担当）、山川武司（営業副本部長）新

監査役　荒巻政文（社外監査役）

エスシー役員

株式会社エスシーは、8月22日開催の第49期定時株主総会並びに取締役会で、役員の改選及び役付け役員の選任を行った。（敬称略）

代表取締役社長　竹澤義久（経営戦略・事業戦略推進担当）

代表取締役専務　高橋和久（経営戦略・DX担当）

専務取締役　長見栄（リスクマネジメント担当）

常務取締役　杉原誠一（事業戦略推進担当）

取締役　茂田智之（物流担当、千葉支社長）新、大室恭志（マーケティング担当クリエイティブマーケティング部長）新

監査役　松田隆次